

要 旨

試験委託者 環境省

表 題 2-tert-ブチル-p-クレゾールのヒメダカ(*Oryzias latipes*)に対する急性
毒性試験

試験番号 No. 2004-生64

試験法ガイドライン

本試験は厚生労働省医薬食品局長、経済産業省製造産業局長、環境省総合環境政策局長連名通知「新規化学物質等に係る試験の方法について」(薬食発第 1121002 号、平成15・11・13 製局第 2 号、環保企発第 031121002 号、平成 15 年 11 月 21 日)に準拠して実施した。

- | | |
|---------------|---|
| 1) 被験物質 | : 2-tert-ブチル-p-クレゾール |
| 2) 暴露方式 | : 半止水式 (48時間目に試験溶液の全量を交換) |
| 3) 供試生物 | : ヒメダカ(<i>Oryzias latipes</i>) |
| 4) 暴露期間 | : 96時間 |
| 5) 試験濃度 (設定値) | : 対照区, 0.32, 0.56, 1.0, 1.8, 2.2, 2.6, 3.2 mg/L
公比; 1.8(ただし、1.8 ~ 3.2 mg/Lは公比 1.2) |
| 6) 試験溶液量 | : 3 L/容器 |
| 7) 連数 | : 1 容器/試験区 |
| 8) 供試生物数 | : 10 尾/試験区 |
| 9) 試験温度 | : 24±1 °C |
| 10) 照明 | : 室内光、16 時間明/8 時間暗 |
| 11) 給餌 | : 無給餌 |
| 12) 通気 | : なし |
| 13) pH | : 試験溶液の pH調整は行わない |
| 14) 分析法 | : HPLC 法 |

結 果

1) 試験溶液中の被験物質濃度

被験物質の濃度は、一部に分析誤差も考えられるものの、揮散による影響が変動の主因と判断し、各測定値の時間加重平均値(暴露開始時と 48 時間換水前、および 48 時間換水後と暴露終了時の対数平均を算出し、それらの算術平均値)を採用した。

2) 50 %死亡濃度

24 時間 50 %死亡濃度(LC₅₀): 2.16 mg/L(95%信頼限界: 1.93 ~ 2.38 mg/L), Logit

48 時間 50 %死亡濃度(LC₅₀): 1.99 mg/L(95%信頼限界: 1.71 ~ 2.18 mg/L), Logit

72 時間 50 %死亡濃度(LC₅₀): 1.92 mg/L(95%信頼限界: 1.55 ~ 2.41 mg/L), Logit

96 時間 50 %死亡濃度(LC₅₀): 1.92 mg/L(95%信頼限界: 1.55 ~ 2.41 mg/L), Logit